

令和7年度 第2回
登録建築大工基幹技能者認定試験問題（60分）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分
2. 問題数 25題(四者択一方式)

注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開けないでください。
- ② 受験番号と氏名は、問題用紙および、解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。受験番号は、机上の3ケタの番号を記入ください。
- ③ 本冊子は表紙を含め10頁です。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などあった場合は、黙って手を上げて申し出てください。
- ④ 本冊子の持ち帰りは禁止です。解答用紙と共に提出してください。
- ⑤ 解答の方法は次のとおりです。
 - イ. 正解と思うものを(1～4)の中から1つだけ選び、解答用紙の解答欄にその番号または記号を記入してください。
 - ロ. 解答を訂正する場合は、訂正する解答を、消しゴムできれいに消すか二重線で取り消した後、新しい解答を記入してください。
- ⑥ 電子式卓上計算機、携帯電話、情報端末機、その他これと同様の機能を有するものは使用してはいけません。
- ⑦ 大工テキスト、共通テキスト、その他ノート類を持ち込むことはできません。
- ⑧ 試験開始後30分までの遅刻は受験することができます。ただし、解答できる時間はこの試験終了予定時刻までです。
- ⑨ 試験中質問があるときは、黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方に関する質問にはお答えできません。
- ⑩ 試験終了予定時刻前に解答が出来上がった場合は黙って手を上げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始から30分以内の場合は退出できないので、静かに着席しててください。
- ⑪ 係員の試験開始の合図で始めてください。

(一社)JBN・全国工務店協会 全国建設労働組合総連合
(一社)全国住宅産業地域活性化協議会 (一社)日本ツーバイフォー建築協会
(一社)日本木造住宅産業協会 (一社)日本ログハウス協会
(一社)プレハブ建築協会

2025年10月12～13日 埼玉県会場

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題1. 登録基幹技能者に求められる能力として、最も**不適當**なものはどれか。

1. 監督から提示された施工計画や技術上の指示内容を充分理解することができる。
2. 監督に対して現場の状況に応じた適切な施工方法や作業手順について提案・調整ができる。
3. 施工方法は一般の技能者の判断に任せて、原価の管理をすること。
4. 現場において技能と技術を結ぶ新たな役割で、生産性が高く、安全で、品質に優れた工事の実現のための新たな技能者像である。

問題2. 「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」に示された登録基幹技能者の役割に関する記述のうち最も**不適當**なものはどれか。

1. 現場の状況に応じた技術者に対する施工方法等の提案、調整等。
2. 現場の作業を効率的に行うための技術者の適切な配置、作業方法、作業手順等の構成。
3. 現場の管理者に対する施工に係る指示、指導。
4. 前工程・後工程に配慮した他の職長等との連絡調整。

問題3. 建設業の働き方改革に関する記述について最も**不適當**なものはどれか。

1. 労働基準法の改正が行なわれ、従業員に対し残業時間の上限規制が決められた。
2. 労使が合意する場合には、残業時間の上限を月に100時間（年間上限720時間）まで仕事することが認められる。
3. 年10日以上の有給休暇が付与される者を対象として、5日以上の取得が義務付けられている。
4. 同一企業内において、正社員と非正規社員の間で、基本給や賞与などあらゆる待遇について不合理な待遇差を設けることを認められた。

問題4. GX志向型住宅の4つの要件として最も**不適当**なものは次のうちどれか。

1. 断熱等級5以上である。
2. 再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費量の削減率が35%以上である。
3. 再生可能エネルギーを含む一次エネルギー消費量削減率が100%以上である。
4. HEMSコントローラーの設置による高度エネルギーマネジメントが必要である。

問題5. 登録建築大工基幹技能者が求められる能力として最も**不適当**なものはどれか。

1. 施工技術及び施工管理に係る基本的な知識と優れた技能を有し、リーダー役として部下を直接指揮、監督する。
2. 他職種との折衝、調整を行い、工事の円滑化を図るとともに、部下の指導、教育を計画的に行う。
3. 知識技能の他、分析力・判断力、企画力・開発力、折衝力・調整力、指導力・統率力、意欲・完遂力が求められる。
4. 元請の技術者の示す施工計画等に従い、作業を行う。

問題6. 登録建築大工基幹技能者の具体的な役割について最も**不適当**なものはどれか。

1. 物事の重要性、緊急度が判断できる。
2. 工事の実情に即した作業手順書の作成ができる。
3. 主題の要点を捉え、相手に的確に伝えることができる。
4. 自分のチームの作業に重点を置き仕事を進める。

問題7. OJTの進め方に関する次の記述のうち、最も**適当**なものはどれか。

1. OJTを進める上で教育指導する場合に重要なことは、同じ仕事を繰り返しやらせ、新しい仕事をさせないことである。
2. OJTを進める上で教育目標を設定・計画するには、なるべく短期で考えるほうが良い。
3. OJTを進める上で重要なポイントは、部下の教育ニーズを掴むのではなく、教える相手に多くの情報を与えるほうが良い。
4. OJTを進める上で教育訓練計画を立てるには、個人別に計画表を作成する必要がある。

問題8. OJTにおける指導・教育の基本知識について**不適当**なものはどれか。

1. OJTは上司の仕事そのものであり信頼とコミュニケーション力が求められる。
2. 部下のペースに適正に合わせた指導育成力が求められる。
3. 仕事のペースは落とさず継続的に日常的に実施することが求められる。
4. 外部との接触は避け個別に決められた作業についての職務能力向上を図ることが求められる。

問題9. 部下の能力等を向上させる基本的な指導方法の順序として、最も**適当**なものは次のうちどれか。

1. 経験させる → 教える → 見習わせる → 自己啓発を行わせる
2. 自己啓発を促す → 経験させる → 教える → 見習わせる
3. 教える → 経験させる → 再度教える → 自己啓発を行わせる
4. 教える → 見習わせる → 経験させる → 自己啓発を行わせる

問題10. 建設業において「労働安全衛生法」上、特定元方事業者が安全教育を行わなくてよいものはどれか。

1. 新たに建設現場の事務職として雇い入れた労働者
2. 新たに選任した作業主任者
3. 新たに職務に就くことになった職長
4. 作業内容を変更した労働者

問題1 1. 特定元方事業者は、建設現場で働く作業員の労働災害を防止するために、統括管理しなければならない事項に関して最も**不適當**なものはどれか。

1. 安全衛生協議会(災害防止協議会)の設置・運営。
2. 朝礼、毎日の作業打合せ等で、元請業者と下請業者、または下請業者間の連絡調整。
3. 月一度の作業場所の巡視。
4. 関係請負人が行う作業員の安全衛生教育に対する指導・援助。

問題1 2. 下記の関係法令の説明で、**不適當**なものはどれか。

1. 労働基準法とは、労働者が生活を営むために必要な労働条件としての最低基準を定めている法律である。
2. 労働安全衛生法とは、職場における労働者の安全と健康を確保し、快適な職場を促進することを目標とする法律である。
3. 建設業法とは、建設業の健全な発達を促進することを主眼とし、建設業労働者の雇用の改善等に関する法律と相まっている基本的な法律である。
4. 労働契約法とは、会社と労働者との間で解雇等に伴う紛争が増加したため、雇用者を保護することを定めた法律である。

問題1 3. 作業手順書に基づき実践した後の効果に関する記述として、その内容が最も**不適當**なものはどれか。

1. 作業方法を理解するためには時間がかかる。
2. 作業指示を適切に行うことができる。
3. 作業のムリ・ムラ・ムダが省ける。
4. 作業員の配置がやりやすくなる。

問題14. 建設副産物について最も**不適当**なものは次のうちどれか。

1. 「建設副産物」とは建設工事に伴い副次的に得られたすべての物品である。
2. 建設副産物対策は事前調査結果を基に発生抑制、再利用の促進、適正処分を基本原則とする。
3. 建設リサイクル法では、特定建設資材を用いた建築物等の解体工事について、分別解体等及び再資源化等を行なう事を義務付けている。
4. 分別解体等を行う場合、工事に着手する5日前までに計画等を都道府県知事に届け出なくてはならない。

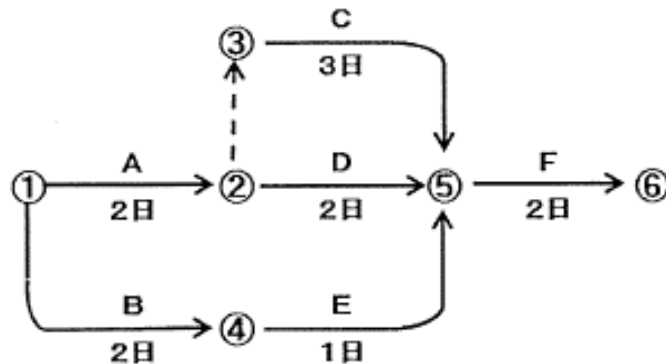
問題15. 施工管理において、四大管理と呼ばれている主要な管理項目で最も**不適当**なものはどれか。

1. 品質管理
2. 原価管理
3. 工程管理
4. 労務管理

問題16. 工程計画に関する次の記述のうち最も**不適当**なものはどれか。

1. 工程計画の直接の目的は工期内の完成だが、工事の品質は各工程において作りこまれ、工事の原価も各工程において生じる。したがって、工程計画の適否が工事の良否を決定するといっても過言ではない。
2. 工程計画の基本的なフローは、次のとおりである。①各工程（各部分工事）の施工順序の決定 ②各工程（各部分工事）に必要な作業可能日数、1日当たりの平均施工量など作業日程の策定 ③機械・設備の規模・台数等の決定 ④実施工程表の作成。
3. 工程計画を作成する際に所要作業日数を算定する必要があるが、所要作業日数とは目的の作業が完了するまでに必要な最短日数である。
4. 実際に作業ができるかどうかは、天候や日照時間、作業現場の位置・状況（近隣住民への配慮）に影響されるが、不明確な要素が多いので作業可能日数の算定に当たっては考慮しない。

問題17. 下図のネットワーク工程表に関する次の記述のうち、最も**不適當**なものはどれか。



1. ①②—③⑤⑥の工程作業がクリティカルパスになる。
2. 作業C・Dは並行して行うことができる。
3. 作業Cは、他の作業に関係なくいつでも開始できる。
4. 作業Fが最も早く開始できるのは5日後である。

問題18. 資材管理に関する次の記述のうち最も**不適當**なものはどれか。

1. 保管場所に見合わないが一括管理しやすいように発注材料をすべて搬入し、紛失・盗難・破損・腐食などの損害を受けないようにした。
2. 材料搬入時に過不足や不良品があったので元請事業者に速やかに報告した。
3. 資材管理の目的は規格・仕様に適合した品質の資材を適正価格で発注することである。
4. 他業種の材料も搬入されるので紛失・盗難・破損などのルールを決めておく必要がある。

問題19. 各工事現場の原価管理の流れとして**最も適當**なものはどれか。

1. 見積原価の管理→実行予算の作成→請負契約→予算実績管理
2. 見積原価の管理→請負契約→実行予算の作成→予算実績管理
3. 実行予算の作成→見積原価の管理→請負契約→予算実績管理
4. 実行予算の作成→請負契約→見積原価の管理→予算実績管理

問題20. 品質管理に関する次の記述のうち最も**不適当**なものはどれか。

1. 品質管理とは設計図書及び仕様書に示された品質基準を十分満足するような工事目的物を最も経済的につくるための管理である。
2. 品質要求事項の高い発注者と設計・監理者によりコストに関係なく品質は実現できる。
3. 顧客の要求事項を満たす程度が高ければ品質は高く、逆であれば品質は低くなる。
4. 品質を構成する特性を「品質特性」と呼び、それを具体的な数字で表示したものを「品質特性値」と呼ぶ。

問題21. 民法の改正によって、「瑕疵担保責任」が「契約不適合責任」に改められた。この「契約不適合責任」に関する次の記述で最も**不適当**なものはどれか。

1. 契約不適合責任には、履行の追完（補修等の実施を求める請求）と代金の減額請求が規定された。
2. 住宅に関しては、「住宅の品質確保の促進に関する法律」に基づき、契約不適合責任に関する特例は、個別の契約に左右されない。
3. 契約不適合責任の担保期間について、注文者はその不適合を知った時から1年以内に請負人に通知しないと救済を受けることができない。
4. 請負人が引渡し時において不適合を知っていた場合は、不適合責任に対する救済期間は、最大10年間と見なされる。

問題22. 熱中症の発生状況とその予防対策に係る次の記述のうち、最も**不適当**なものはどれか。

1. 服装は、熱を吸収し、保熱しやすい服装は避け、通気性の良い、吸湿性・速乾性のある服装を着用する。
2. 加齢や疾患によって脱水症状であっても自覚症状に乏しい場合があることに留意する。なお、塩分等の摂取が制限される作業員については、主治医、産業医等に相談する。
3. 建築工事において死亡災害がもっとも多い作業項目は熱中症である。
4. 涼しい休憩場所の確保を検討し、休憩場所には氷、冷たいおしぼり等の体を冷やすことができる物品や、飲料水、スポーツドリンクの備付を行う。

問題23. 安全帯の規格の改正について最も**不適當**なものは次のうちどれか。

1. 従来の安全帯に含まれていたワークポジショニング用器具であるU字つり用胴ベルトは、墜落制止用器具に含まれる。
2. 建設業等の高所作業において、国際規格等ではフルハーネス型安全帯が採用されている。
3. 墜落制止用器具は着用者の体重及び装備品の重量の合計に耐えるものでなければならない。
4. フルハーネスのショックアブソーバは、フック位置によって適切な種別を選定しなくてはならない。

問題24. 「安全帯の規格」に関する次の記述について最も**不適當**なものは次のうちどれか。

1. 「安全帯」は「墜落制止用器具」に名称が変更になったが、「安全帯」という用語は使用できる。
3. 高さが6.75m以下の部分（建設業では5m以下）では、胴ベルト型（一本つり）を使用することができる。
3. フルハーネス型墜落制止用器具はフックをかける位置や耐えうる重量により、器具が異なる。
4. フルハーネス型墜落制止用器具を使用して高所の業務を行う労働者は、使用開始後すみやかに特別教育を受講する必要がある。

問題25. 木材の製材の形状寸法と呼び名の記載で、最も**不適當**なものはどれか。

1. 製材された木材の断面は、製材のJISによって規格化されている。
2. 貫、小割などの製材では、呼称寸法と呼ばれる寸法が今も使われている。
3. 構造材の断面寸法は引き立て材寸法とし、造作材、化粧材については仕上げ寸法を原則とする。
4. 部材の断面表示は幅×せいとするが、小屋梁などの丸太材では末口寸法（最小径）で表示する。